

アグリーいな 第6号

アグリーいな風景

第3回野菜づくり講習会

10月16日に第3回目(最終回)の野菜づくり講習会を行いました。

今回は、農薬の適正使用や、野菜づくり講習会で発生した病害虫の対処法などについての講習と、大根・白菜の収穫作業を行いました。この講習会を通して、野菜づくりの楽しさや、収穫の喜びを感じていただけたと思います。



県農業総合センター祭り

10月29日、30日に県農業総合センター祭りに参加しました。

アグリーいなで収穫した白菜と大根を販売し、猪苗代産野菜のPRを行いました。

また、11月12日、13日に行われた新そば祭りのPRも併せて行いました。



コンバインによる脱穀

11月2日、高棒による自然乾燥を行った稲をコンバインで脱穀しました。

これをもって稲作の全てのほ場作業を終了しました。

調査結果の詳細につきましては、結果がまとまり次第お知らせします。

三要素試験の結果は裏面のとおりです。



調査結果

水稻の三要素試験



「アグリいな」では、冷害試験地時代に 50 年以上続けてきた水稻の三要素試験を6年ぶりに復活させました。結果の概要は以下のとおりです。

- 1) 休耕していたため土壌からの窒素供給量が増加し、無窒素区でも高い収量が得られた。
- 2) 無リン酸区は出穂が遅れ、穂数の減少などにより収量レベルが下がった。
- 3) 無カリ区は穂いもち病の発生により登熟歩合が低下し、最も低収量となった。
- 4) 三要素区では最も高い収量が得られたが、やや窒素過多の生育であった。



区名	出穂期	稈長 (cm)	穂いもち (本/m ²)	穂数	登熟歩合 (%)	精玄米重 (kg/a)
無窒素	8月11日	89.0	無	497	85.4	67.1
無リン酸	8月17日	95.9	微	424	82.2	58.5
無カリ	8月12日	95.8	中	569	60.9	52.4
三要素	8月12日	100.1	微	566	78.6	75.7

品種：あきたこまち

三要素区の施肥量：窒素6kg/10a、リン酸・カリ10kg/10a

お知らせ



畑作物の所得補償交付金について

畑作物の所得補償交付金（数量払一そば・大豆等）の交付申請受付が行われております。交付金を受ける場合には、再度の申請（交付申請書並びに出荷・販売数量及び等級の証明書）が必要になります。なお、ＪＡあいづ出荷分の「そば」並びに「大豆」につきましては、後日、ＪＡあいづより交付申請書並びに証明書を送付致しますのでお待ち下さい。ＪＡあいづ以外へ出荷されている方は、下記の問い合わせ先までお問い合わせ下さい。

また、畑作物の所得補償交付金の交付対象の皆さまで、対象作物毎に実生産（販売）数量が生産数量目標の2分の1に満たない場合には、交付申請書提出時に理由書を添付することが必要になっており、個人毎の実態に即した理由を記載して提出頂くことになります。

○問い合わせ先：東北農政局福島地域センター会津若松支所（TEL 28-2700）

農林課農林業務（TEL 62-2116）

アグリいな

（猪苗代町地域農業活性化センター）

猪苗代町坂下4527番地

TEL 0242-85-7816

（旧福島県農業試験場冷害試験地）

FAX 0242-85-7836

開所日 平日 8:30～17:00

Mail agriina@oregano.ocn.ne.jp